

令和 8 年 2 月 7・8 日

新春サークル発表会

館報 おがだ

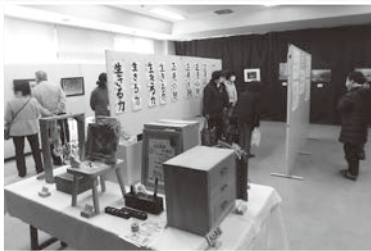
いざという時
まず家族
そしてご近所常会へ

2月7日、8日の2日間にわたり、岡田公民館にて新春サークル発表会が開催され、13団体による作品展示、6団体によるステージ発表が行われました。

当日はあいにくの雪模様でしたが、足元の悪い中にもかかわらず多くの方が訪れ活気にあふれていました。熱意と工夫が感じられ、心温まる展示が数多くありました。また、子どもたちの個性豊かな作品や歴史標識の展示など、見どころも多く、大変興味深い内容でした。三水会のお蕎麦の振る舞いには開始と同時に長蛇の列ができ、多くの方が楽しみにされている様子うかがえました。

発表会を通して、地域のつながりの大切さを改めて感じました。

作品展示



健康チェックコーナー (健康づくり推進員会)



そば打ち (三水会)



福祉ひろば

ステージ発表



松本サブニュマ



ハンドベルすずらの会



太極拳はまなす



岡田町ミュージックベルクラブ (OMBC)



オール神沢



岡田太鼓連

はクかまはばてをから土の私
いど。せありむつを探し虫の中
はドムんりいでいしから虫の中
はドムんりいでいしから虫の中



宿場跡

岡田町は善光寺街道の宿場として古くから人の流れがあり、今も面影のある建物が残っています。地形的にみると宿場周辺は丘になっており、丘の頂上に街道が走っている平坦な地形です。
交通量は一部を除き少ないと思いますが、全般的に平穏な住宅地です。ただ丘の上ゆえに南風の時は風が強く感じる地形ですが、日当りが良く満足しています。
私は少しばかりの畑で家族と共に野菜を作っていますが、耕運機で畑を耕しているところとムクドリが私のすぐ後に舞い降りて、

岡田
ぼっとニュース

平穏な岡田町

●岡田町●

つもの虫をくわえては、どこかへと運んでまた戻ってきて虫をついばんでいました。私の様子を探りながら競争してついでにむ姿を横目で見ながらほのぼのとした雰囲気になりました。いつもは人が近づけば逃げてしまふことに慣れていたのでなぜか平和だなと感じ、またいつでも来て虫をついばんでくれと。
しかし、来てほしくない動物もいます。それは今、社会問題になっている熊や人や農作物等に大きな被害を与えており、出没してほしくない動物です。岡田町は山や川に近い地形なので心配ですが、行政等で対策をしているので、我々も限りはありますが、出来る事は実施し被害を最小限にしたいと改めて平穏な岡田町を守りたい。
(岡田町 小林 邦次)

「三九郎で無病息災願う」



伝統行事「三九郎」が1月11日、松岡地区で行われました。飾り終えた正月飾りやだるまが火に包まれ、パチパチ、ボンツと音を立てて燃え上がりました。もくもくと上る煙が減り火勢が弱まると、子どもや住民らが米粉で作った色とりどりの



なお、東区や塩倉、山浦の一部など強風で中止になったところもあるようです。

繭玉をあぶったりして火を囲み、ほんのり焼けた繭玉を味わいながら無病息災・家内安全などを願いました。

編集委員募集



公民館報編集委員募集です。毎年、各町会から選出している委員さんの外に、岡田地区のより良いところやイベントなどを知ってもらうため、館報の編集に協力していただける方を随時募集しております。お問い合わせは岡田公民館 (☎ 46-2313) まで

鳴門の大橋を超え四国に入る。オフロードバイクで訪れるのは初。目指すは日本一長いダート(未舗装路)として知られる剣山スーパード。全長約90km、がけ崩れなどで通行止めとなることも多く、走破の機会を狙っていた。



ツーリング日記

山浦 西村

重雄

旅は9月末日。翌朝、東側入口から林道へ入る。冬用のグローブでも冷たい空気に手は悴む。気づいてはいたが、バイクの調子がいまひとつ。一度エンジンを止めると再始動が難しく休憩すらままならない。1時間半かけて「徳島のへそ」に到着、道のりの3分の1を超えたところだ。林道はどこどころガレキしており、油断すれば転倒しかねない。驚かされた。違ったのだろうか。孤独感と緊張が続いた。4時間あまりを要し林道を抜け、食事のためにバイクを止めた。案の定エンジンがかからない。1時間ほどエンジンが冷めるのを待って、なんとか再始動成功。一人旅ならではの緊張と安堵が入り混じる。走り抜けた先で食した生ワカメのお通しだが、格別の味として心に刻まれた。
ふと、明日の帰路520kmの道中、「エンジンを止めることができない」という不安が脳裏をよぎった。